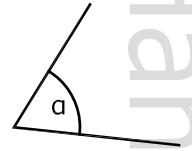
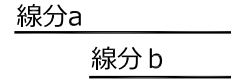


### 例題

線分a、bを2辺とします。  
角は、 $\angle a$ に等しい三角形を作図してください。



※三角形の決定条件の1つ（2辺とその間の角度がわかれば三角形ができる）です。

### 解答例

#### コマンドを使って作図

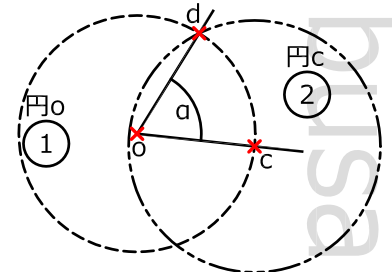
■与えられた図形を利用して、次の作業を終わらせておきます。

与えられた2つの辺の交点をoとします。

交点oを中心として、任意の半径で円oを描きます。 ①

円oと2つの辺との交点をc、dとします。

交点cを中心として、半径をcdとする円cを描いておきます。 ②



与えられた2つの辺の交点をoとし  
任意の半径で円oを描く  
cdを半径とした円cを描く

#### <角を移す>

三角形の底辺とする方向に線分 l を作図します。

コマンド：[作成] ⇒ [線分]

1点目を指定： 線分の始点位置までカーソルを移動してクリックします。

次の点を指定： 線分の終点位置までカーソルを移動してクリックします。

[Enter] キーまたは [Esc] キーを押します。

線分 l の一方の端点をPとします。 ③



円oを線分 l の端点Pに複写します。

円oを選択します。

コマンド：[修正] ⇒ [複写]

基点を指定： 円oの中心までカーソルを移動してクリックします。

目的点を指定： 線分 l の端点Pまでカーソルを移動してクリックします。

線分 l と円oとの交点をS、複写後の円oを円Pとします。 ④



円cを線分 l の交点Sに複写します。

円cを選択します。

コマンド：[修正] ⇒ [複写]

基点を指定： 円cの中心までカーソルを移動してクリックします。

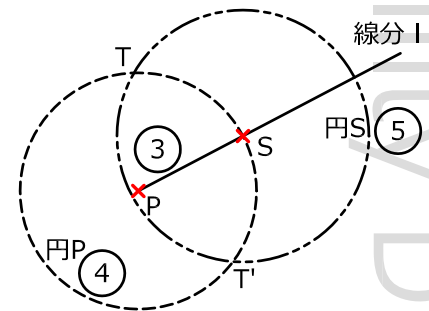
目的点を指定： 線分 l 上の交点Sまでカーソルを移動してクリックします。

複写後の円cを円Sとします。

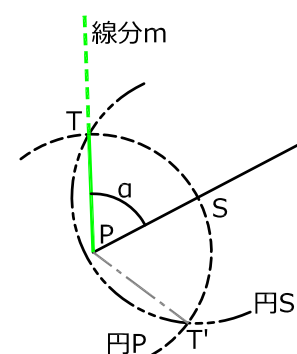
$\angle SPT$ が与えられた角「a」と同じとなります。

円Sと円Pとの交点をT、T'とします。

ここまでの作業で、角を移すことができました。



円oを複写後円Pとする  
円cを複写後円Sとする

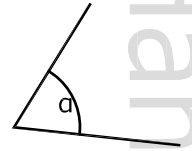
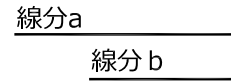


与えられた角を移すことができた  
線分 l の下部にも角を移すことができる  
解答例として、線分 l の上部だけを使う

**例題**

線分a、bを2辺とします。  
∠aに等しい三角形を作図してください。

※三角形の決定条件の1つ（2辺とその間の角度がわかれば三角形ができる）です。

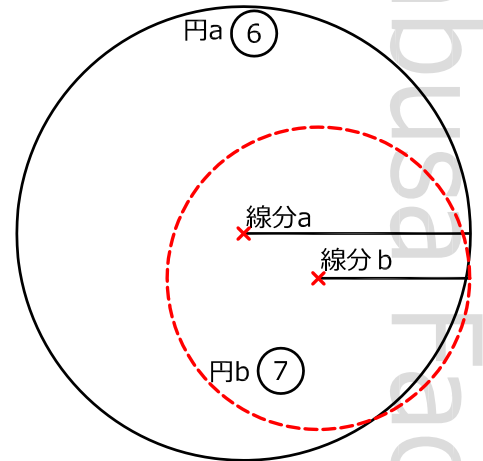


**解答例**

コマンドを使って作図

■与えられた図形を利用して、次の作業を終わらせておきます。

線分aを半径とする円aと、線分bを半径とする円bを描いておきます。⑥ ⑦



与えられた2つの辺、線分a、線分bで  
線分aを半径として円aを描く  
線分bを半径として円bを描く

<線分の長さを移す>

線分aを線分l上に移します。

円aを選択します。

コマンド：[修正] ⇒ [複写]

基点を指定： 円aの中心までカーソルを移動してクリックします。

目的点を指定： 線分lの端点Pまでカーソルを移動してクリックします。

線分lと円aとの交点をQします。⑧



線分bを線分m上に移します。

円bを選択します。

コマンド：[修正] ⇒ [複写]

基点を指定： 円bの中心までカーソルを移動してクリックします。

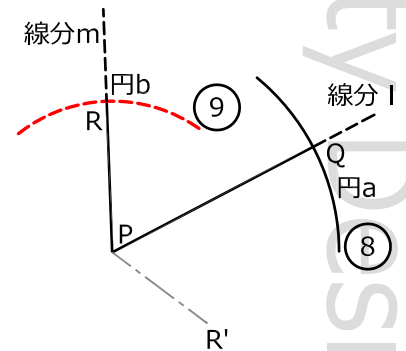
目的点を指定： 線分mの端点Pまでカーソルを移動してクリックします。

線分mと円bとの交点をRします。⑨



線分aと線分bの長さを移すことと、

与えられた2つの辺と角度を移すことができました。



円aを複写する  
円bを複写する

三角形PQRの∠Pが与えられた角aとなります。

終了

